

領域	専門分野Ⅱ	授業科目	成人看護学Ⅴ	単位(授業時間/時間数)	1(28/30)
開講年次	2年次	開講時期	後期	授業回数	14回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえて臨床に即した授業・演習を行なう	

### 授業のねらい

健康レベルに応じた対象者の理解に必要な基礎知識と看護実践に有用な理論を学ぶ。  
また、各健康レベルにある対象の特徴と、そのレベルに応じた援助方法を学ぶ。

### 授業目標

各健康レベルにある対象の看護において必要な看護技術について、その理論と実践方法が理解できる。

### 授業概要

- |  |   |
|--|---|
| <p>1. 急性期看護</p> <p>1) 急性の健康障害がある患者の病態と治療等をふまえた急性期の特徴</p> <p>2) 生命危機状況にある対象に必要な基本的看護援助</p> <p>3) 周手術期看護の考え方、必要な看護</p> | <p>3. 終末期看護</p> <p>1) 終末期の特徴</p> <p>2) 終末期看護・緩和ケアの考え方</p> <p>3) 患者とその家族のニーズ</p> |
| <p>2. 慢性期看護</p> <p>1) 慢性期看護の特徴</p> <p>2) 慢性期にある患者の特徴</p> <p>3) 慢性疾患の治療の特徴</p> <p>4) 生活習慣病の予防とヘルスプロモーションの促進</p>       | <p>4. 看護過程展開</p> <p>健康障害のある事例に対して実践的なプロセスを看護理論を用いながら看護過程を展開する</p>               |

### 【担当からのメッセージ】

以下のことに取り組み授業に臨んで下さい。

- ・生体反応についての復習
- ・生活習慣病についての復習
- ・終末期看護を考えるにあたって必要な読書
- ・解剖生理学の復習

### 授業の進め方

講義、演習

### 教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔4〕臨床看護学総論(医学書院)

### 参考図書

ナーシング・グラフィカ 成人看護学④ 周手術期看護(メディカ出版)

### 評価方法

終講時 客観式テスト+演習取り組み状況(100点)

試験時間は時間数に含む。